

当院で周産期心筋症のため心筋生検または
人工心臓装着術を受けられた患者様・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、普段の診療における病理組織評価で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身あるいはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】当院開設以来、2022年12月31日の間に、周産期心筋症で入院し、病理部にて心筋病理組織評価を受けた方

【研究課題名】周産期心筋症における病理学的探索研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 病理部 医長 大郷恵子

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、心筋組織の病理学的検討を行うことにより、周産期心筋症の病態を解明することを目的としています。この研究の成果は、将来的に疾患原因に基づいたより根本的な治療提供が可能となり、周産期心筋症の診療の質の向上に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報等】

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、身長、体重、妊娠・出産歴、妊娠合併症併存の有無と種類、帝王切開の有無、心不全臨床病型分類、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、心筋症・突然死の家族歴、不整脈・塞栓症の有無、収縮期血圧、拡張期血圧、心拍数、血液検査データ(肝・腎機能、脂質代謝、糖代謝、貧血、炎症所見、BNP、NT-proBNP、甲状腺ホルモン、甲状腺刺激ホルモン、尿所見、IL-6、プロラクチン、切断プロラクチン、アドレナリン、ノルアドレナリン、ドーパミン、アルドステロン、レニン活性、テネイシンC、血管内皮細胞増殖因子)、非薬物治療歴、薬物治療歴、生理検査(ホルター心電図、運動耐容能、運動負荷検査)、心臓超音波、放射線検査(CT・MRI)・核医学検査、心臓カテーテル検査、予後情報、心不全イベントの有無、その後の出産歴の有無、心筋病理組織標本

【生体試料・情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】 研究許可日より 2025 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト（<http://www.ncvc.go.jp>）の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の研究計画を変更する場合や、収集した生体試料・情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 病理部 医長 大郷恵子

電話：06-6170-1070